



学校だより

令和8年2月26日

臨時増刊号

☎ 291-5121

令和7年度学校評価と教育相談週間におけるアンケート結果について

校長 千脇 卓也

今年度も残りわずかとなり、次年度の学校の教育計画の準備が進められています。その参考となる資料が学校評価です。保護者の皆様におかれましては学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。

また、11月に、全児童を対象にいじめに関する「お悩み相談アンケート」を実施しました。このアンケートの内容をもとに、教育相談週間に担任が児童全員と教育相談を実施しました。また、保護者の皆様にもアンケートにご協力いただきましてありがとうございました。

それぞれの結果と考察についてお知らせします。

【学校評価について】（令和7年12月実施）

	児童		教職員	保護者
	項目	平均	平均	平均
生徒 経営 指導	毎日の楽しさ	3.5	3.6	3.4
	安心の生活	3.5	3.4	3.0
	困ったときの相談	3.2	3.5	3.4
学習 活動の 充実 自学	授業がわかる	3.4	3.4	3.2
	発表することや考えをかくこと	3.1	3.1	2.8
	主体的に	3.1	2.9	2.7
	毎日の家庭学習	3.2	3.5	3.0
	進んで読書	3.0	3.4	2.6
	学習用具を前日に準備	3.2	3.3	2.7
思い やり 協力	登下校時のあいさつ	3.5	3.7	3.5
	手伝ってもらったときのお礼	3.8	3.6	3.7
	困っている人への声かけ	3.4		3.2
	相手の気持ちを考えた話し方	3.5		3.1
	清掃・当番・係活動の取組	3.6	3.3	3.0
健康 安全	十分な睡眠	3.2	3.3	3.6
	毎日の朝食	3.7		3.7
	進んで運動	3.3		2.9
	横断歩道の安全確認	3.5	3.6	3.4
	安全安心な教育環境の保持		3.6	3.3
保護 者 連携	学年だよりによる情報発信		3.6	3.4
	特別支援教育・合理的配慮		3.6	3.3
	保護者に寄り添った対応		3.7	3.4

考 察

【経営・生徒指導】

全体として高評価となり、教育相談についても、児童・保護者とも数値が向上しています。教職員としては、これからも高い意識をもって日々児童と向き合い、一人一人を大切に児童との信頼関係を築き、安心して学校生活を送れるように努めていきたいと考えています。

【自学・学習活動の充実】

本校の児童の課題の一つである「主体性」については、今後も学習活動全体において確かな学力と主体性をバランスよく伸ばす必要があります。発表することや自分の考えを表現することについて、苦手意識をもっている児童の割合が多いため、表現の方法の具体的な指導や、表現したいという強い思いをもてる場面の設定など、指導を一層工夫していきます。

昨年度の課題であった読書の推進については、向上が見られます。今後も児童が本に触れる時間の確保を意識し、さらに読書をする楽しさを感じられるような働きかけを行っていきます。わくわくおはなし隊の皆様にもご協力いただいております。ご家庭でも読書にふれる時間を大切にしてください、ご協力よろしくお願ひします。

【思いやり・協力】

すべての設問において、児童・教職員とも良好な結果になりました。「あいさつ」や「相手の気持ちを考えた話し方」については、児童の認識と実際の行動が伴わない場面が見られるのが現状です。道徳の時間等を活用した指導と、実際の場面に応じてどのような行動をするよいか具体的に示す場面の両面から、繰り返し組織的な対応をしていきます。

【健康・安全】

健康に関する項目は、ご家庭と学校との協力も必要な部分であります。これからもご協力のほど、よろしくお願ひします。朝食については、学校でも日々の学級活動や長期休業前等、声をかけていきます。

安全に関する項目については、児童の意識が高まっていることがわかります。しかし、地域の方からの放課後の過ごし方等の情報提供も少なくありません。学区内にまだ作られて間もない信号のない横断歩道もあるので、見守りを続けていきます。

また、運動に関する項目について、保護者の皆様からの評価がやや低い結果となっております。体育学習や体育的行事の充実とともに、特定の運動に親しむ期間を設け、運動習慣の確立にもつなげていきたいと考えています。

【保護者連携】

保護者の皆様からはおおむね高評価をいただいております。保護者の皆様からいただいた学校への要望やお問合せについては、今後も迅速・丁寧に対応するよう心がけていきます。また、「すぐる」や学校HPなどからもわかりやすい情報発信に努めていきますので、ご協力よろしくお願ひします。